

東京工業大学 ソリューション研究プロジェクト

ソリューション科学に対する体系的研究 2013 ～研究発表会～

Risk Solutions 2013

大学院社会理工学研究科とソリューション研究機構との連携にもとづき、2010年度から始めました研究プロジェクトも、本年度が最後の年になります。本年度は、これまでの研究の集大成として、対象を広くし「ソリューション科学に対する体系的研究」をテーマといたします。

今年度は、18件の研究計画がこれに参加し、一年間取り組んでまいりました。この度ここに研究成果の一部を発表いたします。多くのみなさまのご参集をお待ちいたしております。

開催日：平成 26 年 3 月 17 日 (月) 10:00～17:50 (9:30 開場、~~18:00~~懇親会)
場 所：西 9 号館 2 階 コラボレーションルーム

<プログラム>

(発表 15 分、質疑応答 5 分)

10:00～10:10	開会の挨拶と趣旨説明・武藤滋夫 (大学院社会理工学研究科長)
セッション1：ソリューション科学のアプローチ手法のフロンティア	
10:10～10:30	確率計画に対するマルコフ連鎖モンテカルロ法を用いた近似解法の提案 松井知己 (社会工学専攻)
10:30～10:50	グローバル企業のリーダー人材育成におけるリスク・ソリューションのための数理モデル 猪原健弘 (価値システム専攻)
10:50～11:10	生活習慣病リスクに対する運動とALAサプリメントの予防効果に関する基礎的研究 須田和裕、柏瀬大志 (人間行動システム専攻)、石渡貴之 (立教大学)、小倉俊一郎 (生命理工学研究科)
11:10～11:30	市町村合併の計量分析 鈴木真志 (価値システム専攻)
11:30～11:50	短期利得と商圏分割～江戸商人のリスク・ソリューション～ 山室恭子 (社会工学専攻)
(昼休憩)	
セッション2：組織・政治システムとソリューション科学	
13:20～13:40	日本のエネルギー安全保障と政策形成支援システムに関する研究 林田駿弥 (価値システム専攻)
13:40～14:00	主体的な経験獲得における意味形成のプロセスモデル-パイロット調査としてのエクゼクティブリーダーの語り- 伊東久美子、猪原健弘 (価値システム専攻)
14:00～14:20	MRG/CMP の枠組みに基づく政党マニフェストの研究—科学技術政策の分析を中心に— 谷口尚子 (価値システム専攻)、クリス・ウィンクラー (ドイツ日本研究所)、松本淳 (慶應義塾大学)
14:20～14:40	The Relevance of Perceptions of Climate Risk in the Replacement of Policy Instruments for the Promotion of Renewable Energy: An Evaluation Based on the Cases of Finland and Norway Luta, Paul Alexandru (価値システム専攻)
(休憩)	
セッション3：環境リスクとソリューション科学	
14:50～15:10	食料システムの効率化と栄養不良の撲滅が世界の天然資源および環境に及ぼす影響の評価 棟居洋介、増井利彦 (社会工学専攻)
15:10～15:30	VOC に対する自主的取組と法規制の効果に関する実証研究 小俣幸子 (社会工学専攻)、小谷健輔 (横浜国立大学)
15:30～15:50	Information Solution in Flood Disasters - the 2011 Thailand Floods and the 2013 Jakarta Flood - and the Warning System in Thailand LEELAWAT, Natt (経営工学専攻)
15:50～16:10	原子力リスク・ガバナンスの観点における『フクシマの教訓』と『よりレジリエントな社会のモデル』に関する研究 中川唯 (価値システム専攻)
(休憩)	
セッション4：リスク評価とソリューション科学	
16:20～16:40	Adoption Style and Customer Knowledge Management Implementation SACHAMANOROM, Weekij (経営工学専攻)
16:40～17:00	高度科学技術社会におけるリスクの分配的正義論—運・尺度・区分 保田幸子 (社会工学専攻)
17:00～17:20	日本語と中国語におけるリスク状況下での帰納的推論の比較研究 中川正宣、張寓杰 (人間行動システム専攻)、坂本佳陽 (A*STAR 研究員)
17:20～17:40	計量テキスト分析による原子力災害被災者の関心・懸念の把握に基づく情報共有のあり方に関する研究 門畑祥子、桑子敏雄 (価値システム専攻)
17:40～17:50	閉会の言葉・今田高俊 (価値システム専攻 教授)

<参加お申込み> 「1. ご所属」、「2. ご氏名」、「3. ご連絡先 (E-mail および電話番号)」を記載いただき、shirakawa.k.aa@m.titech.ac.jp あてに E-mail でお申込みください。